

Mizuho Daily Market Report

2023/4/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	134.17	133.76	▲0.48	▲0.36
EUR	1.1031	1.0973	▲0.0073	+0.0001
AUD	0.6659	0.6626	▲0.0070	▲0.0099
SGD	1.3362	1.3386	+0.0052	+0.0059
CNY	6.9182	6.9326	+0.0368	+0.0564
MYR	4.4489	4.4500	+0.0127	+0.0162
THB	34.37	34.38	▲0.01	+0.09
IDR	14941	14845	+0	+0
PHP	55.54	55.54	▲0.25	▲0.60
INR	81.94	81.92	+0.01	▲0.12

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.400%	▲9.1 bp	▲17.6 bp
日本(10年)	0.479%	+0.6 bp	+0.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.384%	▲12.4 bp	▲9.3 bp
オーストラリア(5年)	3.206%	+0.0 bp	+2.1 bp
シンガポール(5年)	2.847%	▲1.3 bp	+0.4 bp
中国(5年)	2.662%	+0.2 bp	▲1.2 bp
マレーシア(5年)	3.424%	▲7.0 bp	▲9.6 bp
タイ(5年)	2.083%	▲0.1 bp	▲1.6 bp
インドネシア(5年)	6.412%	+0.0 bp	+0.0 bp
フィリピン(5年)	5.857%	+1.6 bp	▲1.2 bp
インド(5年)	7.013%	+0.7 bp	▲3.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,530.83	▲1.0%	▲1.3%
N225(日本)	28,620.07	+0.1%	▲0.1%
STOXX60(ユーロ圏)	4,377.85	▲0.5%	▲0.4%
ASX(オーストラリア)	4,285.93	▲0.2%	▲0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,296.56	▲0.8%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,264.87	▲0.3%	▲3.8%
KLSE(マレーシア)	1,425.19	+0.2%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,540.20	▲1.1%	▲3.4%
JKSE(インドネシア)	6,821.807	+0.0%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,593.39	▲0.1%	+2.0%
SENSEX(インド)	60,130.71	+0.1%	+0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	268.78	▲1.4%	▲3.6%
金	1,997.39	+0.4%	▲0.4%
原油(WTI)	77.07	▲2.1%	▲4.7%
銅	8,506.00	▲2.3%	▲5.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	132.90	—	134.80
EUR/USD	1.0940	—	1.1130
AUD/USD	0.6570	—	0.6680
USD/SGD	1.3320	—	1.3420
USD/CNY	6.9170	—	6.9550
USD/MYR	4.4350	—	4.4880
USD/THB	34.05	—	34.35
USD/IDR	14780	—	14950
USD/PHP	55.45	—	56.00
USD/INR	81.65	—	82.15

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は133円台後半の水準でオープン。前日の流れを引き継ぐ形で米金融信用不安から日本株は下落、米金利が低位で推移しリスクオフが漂う中、ドル円は下落。しかしその後、日本株が押し目買いで支えられたことを受けてドル円は上昇に転じ、133円台後半の水準へ戻し海外時間へ。

アジア通貨は概ね軟調。欧米金融セクターを巡る懸念が再燃するなか、アジア通貨は概ね軟調推移となった。

海外時間のドル円は、米金融不安の再燃や米景気減速が警戒される中じりじりと133円台前半へ下落も反発し、133円台後半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米3月耐久財受注(前月比)が市場予想を上回るも、コア資本財の受注は予想より悪化しており、米経済減速が懸念される内容。また、米地銀の経営不安も重なりリスクオフの円買いが進み、ドル円は133円ちょうど付近まで急落。その後は米金利が反転上昇した事を受け、円が売り戻される展開となり133円台後半まで反発。NY時間午後には米地銀がFRB貸出へのアクセスが制限される可能性があるとのヘッドラインが伝わり、経営不安の長期化が懸念され再びリスクオフの動きに。円買いが優勢となり、133円台半ばまで反落。終盤は次第に静かな動きとなり、133円台後半の水準でクローズ。

【金利】

米債市場はカーブがヘアフラット化。米中堅商業銀行を巡る問題が再燃しているものの、好調な企業決算などを受けて金利が上昇。

【予想】

本日のドル円は金融機関への信用不安に対する懸念が煽る中、前日同様に上値重く推移する展開を予想。しかし、今晚は米国にて1Q GDP速報値やコアPCEデフレーター速報値などの重要指標発表が控えており、内容次第ではドル円上昇の可能性もあろう。

【本日の予定】

(日本) 2月 景気動向指数(確)
(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y、25y超
(アジア) 1Q 豪 輸出物価指数 / 輸入物価指数
(アジア) 3月 中国 工業利益
(アジア) 4月 NZ ANZ企業景況感 / ANZ企業活動見通し
(アジア) 5月 韓国 景況判断
(アジア) 南北朝鮮の板門店宣言から5年
(欧州) 1Q 西 失業率
(欧州) 3月 独 小売売上高
(欧州) 3月 西 小売売上高
(欧州) 4月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)
(欧州) 4月 ユーロ圏 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数
(欧州) 4月 伊 景況感指数
(欧州) 4月 伊 消費者信頼感指数 / 製造業信頼感指数
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 1Q GDP(速) / GDP価格指数(速)
(米国) 1Q コアPCEデフレーター(速)
(米国) 3月 中古住宅販売仮契約
(米国) 新規失業保険申請件数
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。